

Q 道の駅建設の財源は

A 町負担の圧縮に努力している



東海林一樹議員

町負担の圧縮に鋭意努力している。

問 道の駅の総事業費はいくらか。その内訳は。

町長 総事業費は21億5000万円の手元である。内訳は表のとおり。

問 その財源をどのように捻出するのか。

道の駅の総事業費内訳

国直轄事業分	6億3000万円
町事業分	15億2000万円
町事業分の内訳	
用地取得費	1億6000万円
外構工事費	3億3000万円
建築工事費	9億3000万円
委託費	1億円

町長 町の持ち出しは4、5億円と見込んでいる。さらに

問 施設全体での雇用人数は。

産業振興課長 約70人で、そのうち正職員は7人を予定している。

問 ほかの道の駅と違った施設とする効果は何か。

産業振興課長 本町が維持継続するには、町内外へ情報を発信し町に人を呼び込み、交流人口を拡大することである。その拠点とするため道の駅の

機能のほかに、地元農産物や商品の販売、食堂に加え、コンビニエンスストア機能、高齢者や子育て世代を支援する機能、防災拠点機能、宿泊機能などを付加することにした。

問 宿泊施設を計画しているが、その収容人員は。

産業振興課長 現時点では最大30人を予定している。

惧を抱いている町民がいた。収支計画について聞く。

産業振興課長 物販、食堂・コンビニ、宿泊施設などを収益源に、管理経費をまかなえる収支構造を作り、開業3カ年で黒字転換を目指す計画。

問 収支計画の売上額を想定した根拠は。

産業振興課長 これまで道の駅経営で実績のある人の助言をもとに算定した。

問 売り上げを1万円と見込んでいる。集客者数は。

産業振興課長 年間70万人を見込んでいる。

産業振興課長 公募により、1月末までに決定したい。

問 物販部門での商品を仕入れる方法は。

産業振興課長 農産物は組合を設立予定だが、商店街の組織化が遅れている状況だ。



野崎洋光氏が道の駅の看板メニューを審査(レシピコンテスト)

Q イベントが多すぎるのでは

A 将来の町の維持発展につなげるため 今こそ必要だ



渡辺勝弘議員

26年度のおもなイベント

4月	桜のライトアップ点灯式 春の町民ウォーキング大会
6月	国見ルネサンスふるさと祭 アフタヌーンティー・パーティー
8月	国見応援団ツアー 国見まるごと再発見夏祭り
9月	義経まつり
10月	秋の町民ウォーキング大会& ひまわりの集い
11月	幼小中一貫教育推進事業
	くにみ産業祭
	野崎洋光氏講演会、第1回国見 のおいしいレシピコンテスト
	森のおもちゃフェスティバル
	ママまつり
	イルミネーション点灯式&キャ ンドルパーティー
12月	東京くにみ会
	和太鼓フェスティバル
12月	ビッグツリー点灯式&キャ ンドルパーティー
1月	イルミネーションクロージング パーティー
2月	国見まちづくりカフェ 春のフードフェスタ
3月	野崎洋光氏講演会、第2回国見 のおいしいレシピコンテスト

問 元気活力風評被害対策事業として実施している各種イベントを来年度も継続していくのか。

町長 本町の維持発展には欠かせない事業である。国・県からの交付金や補助事業を有効に活用しながら、事業の効果や規模

などを十分精査し、来年度も引き続き取り組んでいく。

問 職員の超過勤務が昨年同様に比べ6割も増加している。その結果から職員の負担増が推測される。職員の健康管理は十分把握しているのか。

職員はぎりぎりの状態で仕事をしている。一般業務に支障をきたして町民に不安を与えかねないと思うが。

総務課長 月60時間以上「健康チェック」をおこなっている。

問 職員はぎりぎりの状態で仕事をしている。一般業務に支障をきたして町民に不安を与えかねないと思うが。

町長 イベント部門をいかに分散するか組織改正も含め対応する。

問 イベントで実行委員や町民から疲れたという声が出ないようにしなければならぬと思うが。

企画情報課長 協力できる範囲でお願いしている。

問 イベントの数を減らして参加者が楽しめるイベントにしては。

企画情報課長 今後の本町の維持発展に必要な事業であり、ご理解ご協力をお願いしたい。

問

これらイベントで町をどのようにしていきたいのか、今後の展開を聞く。



首都圏から約250人が集まった東京くにみ会東京都・ルポール麹町

町長 本町を維持発展させ、未来につなげるための地盤をつくるには国などの支援がある今しかない。今やらないと合併のうねりの中に入っていく。その思いで今取り組んでいる。